

江津地域の新設校開校準備委員会「Ⅰ期まとめ」について

1 新設校開校準備委員会について

- ・目的 新設校の開校準備に関する業務を適切に行うために設置 (R6. 2. 27)

2 教育委員会会議での議論の経緯

令和5年12月 江津地域の今後の県立高校の在り方「基本的な方針」(議決)

令和6年2月 江津地域の今後の県立高校の在り方

「新設校開校準備委員会の設置」(報告)

令和6年12月 江津地域の新設校開校準備委員会「Ⅰ期中間まとめ」(議決)

3 開校までの検討スケジュール

年度		R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R10 (2028)
		Ⅰ期 (教育内容、施設整備について検討)			Ⅱ期 (校内体制検討、施設整備)		
開校準備	学校					生徒募集 入学者選抜	
	県教委事務局		準備委員会設置・開校準備			開校	
			施設整備の基本構想・基本設計、実施設計・工事				
			関係機関との調整				

誰もが、誰かの、
たからもの。

江津地域の新設校開校準備委員会

I 期まとめ

令和7年3月26日

新設校開校準備委員会

令和5年12月決定の基本的な方針

- ① 江津地域の子どもたちの進路の選択肢の確保と、教育活動の充実を最優先に考え検討
- ② 江津高校と江津工業高校を統合し、1学年120人規模の新たな魅力ある高校を設置
- ③ 江津高校が築いてきた地域連携による進学を念頭においた学びを継承
- ④ 江津工業高校の伝統を生かすとともに、県西部の工業教育へのニーズに対応できるよう、工業教育の更なる魅力化を検討
- ⑤ 学科名、コース名、教育の具体的な内容については、地域の意見を丁寧に聴取しながら検討
- ⑥ 地域や地元教育機関等と連携し、探究的な学びを生かした魅力ある教育を展開
- ⑦ 工業教育の実習施設・設備が必要であることから、新設校は江津工業高校の場所を念頭
- ⑧ 開校する時期は、教育課程の検討と、それを踏まえた施設整備のため、令和10年度前後を想定
- ⑨ 開校までの間、または開校後であっても、地域や社会のニーズを捉え、時代に合った魅力ある学びとなるよう柔軟に対応し、必要があれば方針等を見直す

1 設置場所

- ・ 江津市江津町 1477 番地 (江津工業高校所在地)

2 開校及び閉校

(1) 新設校の開校

- ・ 令和 10 年 4 月 (令和 9 年度実施の入学者選抜より募集開始)

(2) 新設校の設置

- ・ 令和 9 年度中に設置 (県議会への条例案提出) 予定

(3) 新設校のイメージ

- ・ 普通科系には「普通科」と「新しい普通科」、工業科には「機械・電気系」と「建築都市工学系」の学科を設置し、それぞれをくくり募集する。

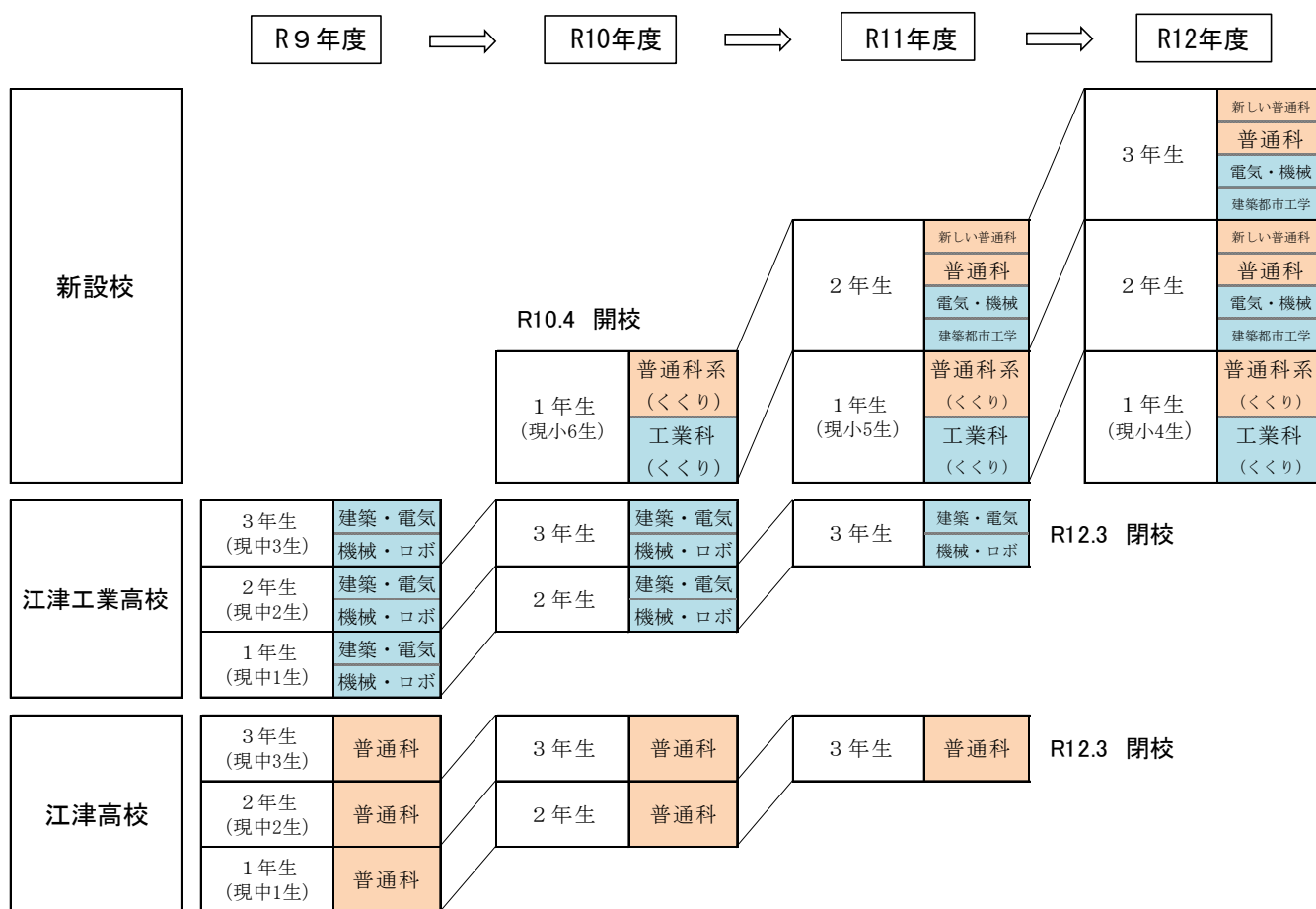
学科・コースの内容 (学科名・コース名は未定)			1 学年当たりの学級数	
普通科系	普通科	・ 文系・理系への進学 ・ 看護・栄養・保育などの資格職をめざす進学 ・ 地域課題の探究からの学びを育てるための進学	2 学級 (60) くくり募集	4 学級 (120)
	地域と連携した「新しい普通科」			
工業科	機械・電気系学科	・ 機械コース ・ 電気コース ※ 大学等への進学にも対応	2 学級 (60) くくり募集	
	建築都市工学系学科			

(4) 江津高校・江津工業高校の募集停止

- ・ 令和 10 年入学者選抜 (令和 9 年度実施) から募集停止
- ・ 令和 8 年度及び 9 年度の入学生は卒業まで入学した学校で学習
- ・ 令和 10 年度及び 11 年度は江津工業高校と新設校の生徒が同じ校地で学習、江津高校の生徒が江津工業高校及び新設校の生徒と共に様々な教育活動を行える体制を整える

〈参考〉 令和9～12年度の配置

※ カッコ内の現学年は令和6年度現在



3 学びの特色

(1) 普通科系の学び

- 普通科を1学級、地域と連携した学びのための「新しい普通科」を1学級設置する。「新しい普通科」の学科名は今後検討する。
- 普通科、「新しい普通科」とともに文系・理系への進学、地域が必要とする看護・栄養・保育などの資格職をめざす進学に対応し、「新しい普通科」には地域と連携した探究的な活動を実践する学校設定教科・科目を設置する。
- 1年次には共通した教育課程で学び、2年次から生徒が自らの適性や興味・関心に応じて普通科、または「新しい普通科」を選択できるようくくり募集とする。
- 工業科の学びや、工業科の生徒と協働した学びにより、幅広い視点から地域課題の探究や自らのキャリアを深める教育課程とする。
- これまでの県立大学との連携の実績を基に、さらに充実した地域探究活動を実現する。

(2) 工業科の学び

- ・ 機械、電気、建築の学びに加え、地域のニーズから都市工学系の学びを加える。
- ・ 機械・電気系の学科の中に機械コース、電気コースを設置する。建築都市工学系学科では建築の学びに加え、街づくりに必要な測量や設計などを学ぶ都市工学系の内容も加える。学科、コースの名称は引き続き検討する。
- ・ 1年次には工業について幅広く学び、2年次から生徒が自らの適性や興味・関心に応じてコースを選択できるようくくり募集とする。
- ・ 普通科の探究活動と連携した課題研究により、地域課題を通じた工業の専門的、実践的な学びを実現する。
- ・ 島根大学材料エネルギー学部等、4年制大学や短大・専門学校への進学を希望する生徒にも対応した教育課程とする。
- ・ 島根職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ島根）の総合制作と新設校の工業科における課題研究との連携や、必要な実習設備の相互使用などの連携した学びを実現するための検討を引き続き行う。
- ・ より高度な資格取得のための学びを工夫する。
- ・ 引き続き地元産業界等と連携とした工業教育を進める。

(3) 両科に共通した学び

- ・ 柔軟な授業の選択が可能となるように単位制の導入について検討する。
- ・ 江津市、江津市教育委員会等と江津市内県立学校3校を含むGO▶GOTUコンソーシアムで、地域と連携した学びを構想する。

4 教育活動の特色

(1) 学校行事

- ・ 普通科系と工業科が併置されている特色を生かした、地域に開かれた学園祭等の学校行事を計画。

(2) 部活動

- ・ 江津高校・江津工業高校の特色を引き継ぎ、男女ハンドボール、水球、ボート部の強化を進める。
- ・ 石見神楽など地域の伝統や文化を生かした地域に貢献できる部活動や、工業の専門性を生かしたモノづくりのできる部活動の設置を検討する。

(3) 円滑な統合に向けた教育活動

- ・ 新設校設置までの期間においても、両校での行事の合同開催や、部員不足の部活動における合同チームの結成、合同練習などの取組を積極的に行う。
- ・ 活動のために必要な交通手段としてバスを整備し、円滑な統合に向けた取組に活用する。

5 施設・設備の構想

(1) 安心・安全な教育環境の整備

- ・ 不足する女子トイレや女子更衣室等の基本的な環境を整備する。
- ・ 老朽化した校舎、実習棟及び屋内運動場については、校地の測量を踏まえ整備について検討する。

(2) 特色ある学びに必要な施設・設備

- ・ 普通科、地域と連携した「新しい普通科」、工業科の学びを実現するための学習環境を整備する。
- ・ 新たな都市工学系の学びに対応するための設備を整備する。
- ・ 普通科系の学び、工業科の学びが両立できるよう図書館や教科教室等の整備を検討する。

(3) 住まい確保

- ・ 普通科系、工業科ともに、県西部全体から入学を希望する生徒がいることが想定されることから、通学困難な生徒への住まい確保のため既存寄宿舍を改修する。
- ・ 女子生徒も利用できるようにするため、既存寄宿舍を改修し、女子棟を整備する。

6 II期の検討内容等

(1) 主な検討内容

1) 教育の特色について

- ・ 具体的な教育活動
- ・ 教育課程の編成
- ・ 校内規程、年間行事予定の策定

2) 施設整備について

- ・ 校地の測量を踏まえた教室棟・管理棟整備の基本計画
- ・ 寄宿舍の整備計画

3) 円滑な統合に向けた活動

- ・ 合同部活動や行事の合同開催
- ・ 地域への周知、パンフレット等の作成による生徒募集

4) 校名・校歌・校章等について

- ・ 校名の公募・選定
- ・ 校歌・校章等の在り方検討
- ・ 制服・体操服等についての検討

5) 両校の在校生や地域の中学生等からの意見聴取について

- ・ 意見聴取の時期、内容

(2) 新設校開校準備委員会本会議

- ・ 定期的に開催し、開校プロジェクトチームの報告を受けて検討を進め教育委員会に報告する。
- ・ 本会議のスケジュール（予定）

回	日時	検討内容
第1回	R 7年4月中旬	<ul style="list-style-type: none">・ 検討スケジュール・ 準備委員会の構成・ プロジェクト部会について・ 施設整備について・ 校名について等
第2回	7月中旬	<ul style="list-style-type: none">・ 施設整備について・ 教育内容について・ 円滑な統合に向けた教育活動の計画・ 校名について等
第3回	10月中旬	<ul style="list-style-type: none">・ 施設整備について・ 教育内容について・ 校名について・ 入学者選抜について等
第4回	2月中旬	<ul style="list-style-type: none">・ 第6回以降の検討スケジュール・ 教育内容について・ 校名について・ 入学者選抜について等
第5回	R 8年4月中旬	<ul style="list-style-type: none">・ 検討スケジュール・ 準備委員会の構成・ プロジェクト部会について・ 施設整備について・ 校名について等

(3) 開校プロジェクトチーム

- ・ 必要に応じて開催し、検討内容を本会議に報告する。
- ・ II期当初は、I期学校魅力化部会を継承し検討を進める。
- ・ 必要となった段階で、総務部会、生徒部会、生徒支援部会を開催し、具体的な検討や作業を行う。

・ 令和7年度以降のプロジェクトチームの構成

部会	あて職（上段は江津高校、下段は江津工業高校）				
総務部会	総務主任	寮務主任	総務部員	事務	
	総務主任	寮務主任	総務部員	事務	
学校魅力 化部会	主幹教諭	教務主任	進路指導主事	企画情報主任	
	教務主任	進路指導主事	学科主任	コース長	
生徒部会	生徒指導主事	生徒部員	体育科		
	生徒指導主事	生徒部員	体育科		
生徒支援 部会	人権・同和教 育主任	保健主事	図書担当	養護教諭	特別支援コー ディネーター
	人権教育主任	保健主事	図書担当	養護教諭	特別支援コー ディネーター

※ 必要に応じて両校校長の判断でオブザーバーを加える。